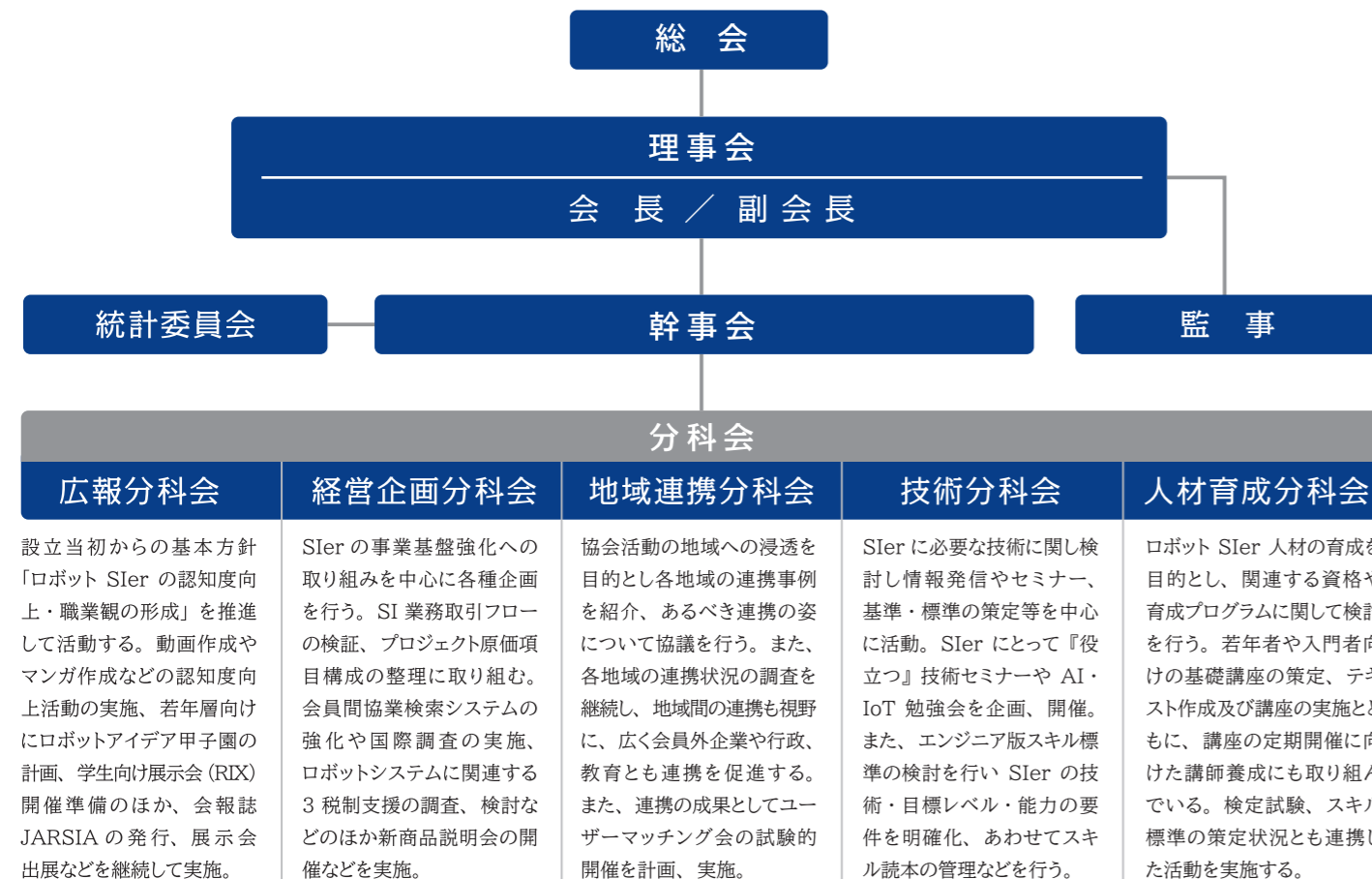


協会組織



入会お申込み方法

1 会員資格 (正会員)

システムインテグレーション業を営む法人及びこれらの者を構成員とする団体。
■会費30万円/年
※資本金 1,000 万円以下かつ従業員数 20 人以下の企業は、入会年度から 2 年間は会費半額。

2 会員資格 (協力会員)

正会員に該当しない者であって、本協会の目的に賛同し、その事業に協力しようとする法人及びこれらの者を構成員とする団体。
■会費20万円/年
※協力会員には Sier 協会の議決権はありません。また、享受できるサービスの範囲に制限があります。

入会のお申込み
お問い合わせ



<https://www.jarsia.jp/admission.html>

上記 URL または QR コードより様式をダウンロードし、「入会申込書」及び「入会申請書」に必要事項を記入し、会社案内 (パンフレット) 及び決算報告 (二期分) を添付のうえ、協会事務局宛に郵送してください。年度の途中入会については会費の月割計算が適用されます。そのほかご不明な点があれば、メールなどでお問い合わせください。

一般社団法人 日本ロボットシステムインテグレータ協会

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 B108
[TEL] 03-6543-0131 [FAX] 03-6543-0132
[E-mail] sier@jarsia.jp [HP] <https://www.jarsia.jp>



「ロボットに命を吹き込む」

それが私たちの仕事です。

設立趣旨

本協会は、ロボット・FA (Factory Automation) システムの構築等を行うシステムインテグレータ (以下「Sier」という) の共通基盤組織として、Sier の事業環境の向上及び能力強化に取り組み、Sier を取り巻く関係者間の連携を促進させることにより、あまねく産業における生産活動の高度化を推進し、我が国の産業の持続的発展と競争力の強化に寄与することを目的とします。

Sier を中心とした
FA・ロボット業界
ネットワークの構築

- Sier を中心とした全国規模の情報ネットワークの確立。
- Sier の受注機会の拡大や、ユーザー要望に対してベストフィットソリューションを提供できる Sier とのマッチング実現に向けた受発注ネットワークの構築

Sier の
事業基盤
の強化

- Sier の経営基盤や事業環境の向上に向けた、Sier 間の協業体制の構築や業界標準の策定、人材確保支援等

システム
インテグレーション
に対する
専門性の高度化

- FA・生産システム及びそのインテグレーションに対する専門性を強化するための、技術・安全講習を通じた人材育成や教材開発等

(一社)
日本ロボットシステム
インテグレータ協会

活動の紹介

人口減少や高齢化などに起因する労働者不足は世界的な課題となっています。ロボット導入をはじめとした自動化による省力化は、その解決策として今後ますます需要が高まっていくと思われまます。

ロボットに命を吹き込む「ロボット Sler」は、その重要な役割を担っています。

(一社)日本ロボットシステムインテグレータ協会は、業界ネットワークの構築と、Sler を営む企業の事業基盤強化につながる活動とともに、ロボット SI 人材の能力強化と育成にも取り組んでいます。また、未来のロボット SI 人材となりうる若年層に「ロボット Sler」という職業を知ってもらうための認知度向上活動にも力を入れています。これらの注力事業について、ご紹介いたします。



Slerを中心としたFA・ロボット業界ネットワークの構築

ロボットシステムインテグレータ向け
新商品・サービス説明会



Sler 協会ははじめ、多くのロボット Sler へ向けて、ロボット SI に役立つ様々な技術や新製品、ソフトウェアやサービス等を紹介するイベントを開催。会場に実機製品の展示を行い、各社のプレゼンテーションを実施。小規模展示会は貴重な交流の場となります。年 2 回開催。

※詳細はこちら ▶▶▶
<https://www.farobotsier.com/new-item/>

Sler's Day などイベントの開催

全国各地で開催する協会主催イベント。開催地の特色を活かしたテーマに沿って、講演会やセミナー、勉強会などを実施しています。会員以外へも広く参加を呼びかけ、会員と周辺関連企業との連携を促進します。そのほか「技術セミナー」「メーカー技術紹介」など、会員向けに勉強会を企画・開催しています。



協業支援・ユーザーマッチング
・事例紹介セミナー

Sler 協会会員専用サイト内では、Sler 会員の得意分野などを検索し、協業につなげる Sler 相互検索システムを運用中です。また、一般のユーザーから、会員のロボット Sler に対して直接案件の相談が可能な「自動化相談ページ」も運用中。また、「ロボット導入事例紹介セミナー」などを開催し、ロボット導入促進を図る取り組みを行っています。

※自動化相談ページ ▶▶▶
<http://www.farobotsier.com/consul.html>

Slerの事業基盤の強化

海外調査事業

Sler の国際競争力の向上を目的として実施している国際調査事業。2019 年度第 1 回調査事業として、会員及び関連機関より参加者を募り、タイ (バンコク) を訪問。海外駐在経験者へのヒヤリングなどを行い今後の訪問調査先、調査内容などを検討中です。



SI 統計

毎月、会員の Sler 企業からロボットシステム売上に関わる各種データを収集し、市場動向の把握や、経営戦略に有益な統計データ集計を行っています。2020 年度には、統計委員会を設置、データの WEB 入力により、統計データ回収率が向上しています。

事業基盤強化のための様々な取組

会員企業の人材採用力の向上を図るため、インターンシップの活用方法や募集の仕方など人材採用に焦点を当てた検討を行っています。人材採用の専門家による採用力向上セミナー (会員聴講無料) も毎年開催しています。その他、商習慣を改変するための取組や、社内プロジェクト管理方法の検討、事業の幅を広げるための検討 (リモートメンテナンスツール実証や工場診断手法の検討など) など、会員企業の事業基盤強化のための様々な検討や取組を行っています。

システムインテグレーション
に対する専門性の高度化

ロボット SI 検定

ロボット SI を行う上で必要な知識の習得レベル・技術の習熟レベルを測定するための検定試験。Sler 協会「ロボット SI 育成プログラム」の一環として「ロボット SI 検定 3 級」公式テキストを発行し、検定試験を 2020 年度より実施しています。ロボット SI に関する基礎知識の定着と基本操作の習得を評価するもので、ロボット SI 及びロボット操作の基礎を習得したい方などが主たる対象です。2 級試験は、2023 年度より一般公開開始。1 級については現在整備中。専用ホームページからテキスト購入、検定試験情報の取得ができます。



※詳細はこちら ▶▶▶
<https://www.si-kentei.com/>

ロボット SI 基礎講座

産業用ロボットを取り扱うロボット SI 人材の入門編として、ロボット Sler の担う役割を広く学習できる講座です。これからロボット Sler を目指す新入社員やロボットシステム販売などの営業担当者、また学生などの若年層向けに構成された内容になっています。2020 年度より、講座の本格展開へ向けて講義テキスト上下巻も整備し、WEB 開催や地域依頼版講座を実施、講師の養成にも取り組んでいます。



※詳細はこちら ▶▶▶
<http://www.farobotsier.com/kisokoza/>

次世代若年層への認知度向上及び広報活動

リクルート活用冊子
「マンガでわかる! ロボット Sler」
「ロボット Sler ってなんだ?!」

大学生や高校生など、これから将来の進路を決めようとしている若年層向け「ロボット Sler」とはどのような職業なのかを知ってもらうためのマンガ冊子。大学生が就職活動中にロボット Sler と出会う第 1 弾と、アイデア甲子園をきっかけに Sler に興味を持つ第 2 弾を公開中。学生の会社見学会の配布資料などに有効です。



※WEB 無料公開中 ▶▶▶
<https://my.ebook5.net/ROBOT-SIER/COMIC/>

<https://my.ebook5.net/ROBOT-KOSHIEN/COMIC/>

「ロボット Sler チャンネル」
Sler 協会動画公開中

ロボット Sler の仕事や魅力を紹介する動画や、Sler 協会の活動を紹介する動画を作成して公開中。「未来に架ける橋」シリーズは、いろいろな場面でロボット Sler が活躍する短編ドラマ集。その他、Sler 協会活動紹介、ロボットアイデア甲子園の記録ムービーなど、チャンネルには新しい動画を公開しています。



※詳細はこちら ▶▶▶
<https://www.youtube.com/channel/UC34QuVj6tLuLqhc04XM4Xg>

ロボットアイデア甲子園

高校生、高等専門学校生などを対象とした、産業用ロボットの新しい使い方のアイデアを競う大会です。ロボット実機を見学してアイデアを考案し、後日プレゼンテーション発表を行います。地方大会の代表は全国大会で日本一の座を競います。2022 年度は 21 センターで地方大会を開催しました。

※詳細はこちら ▶▶▶
<https://robotkoshien.jp/>



展示会出展

各地のロボット関連展示会において Sler 協会ブース出展、セミナー開催などを実施。ブースでは動画の上映、活動紹介のポスター掲示、資料配布などを行います。展示会の会員企業出展ブースでは協会 n 青いロゴ入り旗を掲示します。

学生向け技術展示会 RIX

大学生などを対象に、産業用ロボットシステムと実際に接する機会を提供、理解を深めてもらうことを目的としたイベントです。大学のロビーなどに実機を展示し「見て、聞いて、触れる」ことが可能な技術展示会です。2022 年度、RIX in 大阪工業大学 2023 を初開催しました。

※詳細はこちら ▶▶▶
<http://www.rix-robot.com/>

会報誌「JARSIA」発行

Sler 協会の活動紹介記事を中心に、年間 2 回発行中です。会員企業情報や技術寄稿、随想録、読者参加企画などを掲載中。毎月初版 10,000 部は会員、関係各機関向けのほかイベントなどで無償配布。



※詳細はこちら ▶▶▶
<http://www.farobotsier.com/jarsiadl.html>

